

八十周年記念事業について

創立八十周年記念事業経過報告

平成十四年七月一日（月）、能代高校、校長室に田中仁純同窓会長（教育振興会長）、能登信一PTA会長、大高多恵男体育後援会長、大高俊美文化後援会長、阿部正博校長、山崎正規教頭、米澤喜隆事務長、総務部（松谷健・太田研）の十名が集まり、能代高校創立八十周年記念事業委員会の設置について、初めての話し合いを行いました。その後、数回に渡る校内委員会を経て、平成十四年七月十九日（金）、第一回周年記念事業実行委員会設置準備委員会（シャインプラザ平安閣）、同年十一月十四日（木）、第二回実行委員会設置準備会を行い、八十周年記念事業計画案と予算案を作成しました。平成十五年一月二十四日（金）、同窓会臨時総会（新年会・金勇）、平成十五年五月二日（金）、PTA総会に事業計画・予算の原案を提案し満場の拍手をもって承認されました。

平成十五年六月十七日（火）、能代高校会議室で同窓会役員、PTA役員、学校の三者で第一回能代高校創立八十周年記念事業実行委員会を行い具体的に事業を推進することになりました。予算に関して、当初、第一体育

館に大規模な暖房設備の設置が計画されましたが、昨今の厳しい経済状況を考慮し、記念事業は七十周年に較べると小規模なものになりました。

承認された会則に従って、実行委員長に田中仁純同窓会長（教育振興会長）、副会長に能登信一PTA会長、阿部正博能代高等学校校長を選出し、実行委員会に総務部、財務部、事業部、広報部を設置しました。

記念講演も計画されて、当初、映画俳優の吉永小百合の名前も挙げられました。きっかけは、講談社出版「旅に夢みる」（吉永小百合著）の中に、吉永小百合氏が通学時（小学校時代）に体操のオリンピック金メダリストの小野喬選手の大学時代の練習風景をよく見かけたという一節があるからです。実現はしませんでした。田中仁純同窓会長が、東京同窓会の折、実際に講談社に向いて打診したという事実があります。その後、在校生に焦点を合わせた講演を計画し、宇宙航空研究開発機構の木本雄吾氏（昭和六十三年能代高卒）に講演をお願いしました。

PTA協力金は在校生の保護者に毎月三百円負担してもらい、同窓会寄付金は平成十六年二月に趣意書で一口三千円で寄付を募り、総額で七百三十七万円となりました。（五百万円を記念事業費に、二百三十七万円は同窓会事務費に。）

平成十六年十一月五日（金）、第二回周年事業実行委員会（副会長、大高多恵男PTA会長、菊谷一能代高等学校長と交代）をシャインプラザ平安閣で開催し、式典・講演会・祝賀会・記念誌の編集方針、招待野球試合など記念行事を再確認しました。一期生の谷内勝美氏がこの会に委員として出席され、その後の懇親会で老若男女の同窓生と元氣にお話しされていた姿が目につかびます。翌月の十二月に逝去されましたが、心より哀悼の意を表します。

同窓会員名簿は同窓会員各位・賛助広告の多大な協力を得て、平成十六年十一月二十日に発行することができました。

平成十七年五月三十日（月）、第三回実行委員会（副会長に大高多恵男氏に代わって金谷哲PTA会長）を行い、新実行委員を委嘱し、式典・講演会・祝賀会・招待野球試合などについて話し合いを深めました。平成十七年八月二十七日（土）に第四回実行委員会を開き、式典当日に向けて最終確認をすることにしました。おそまきながら、平成十七年六月二十九日（水）職員会議で創立八十周年メインテーマは「松陵を舞う八十（やそ）の彩色（いろ）——凌駕する力を今——」（三年G組越中美樹）に決定しました。

〈記念講演〉

講師 宇宙航空研究開発機構 木本雄吾氏

(昭和六十三年能代高卒)

演題「宇宙、これからの我々の生活とのつながり」

〈記念事業〉

○可搬形ジャンボヒーター(十台)

○コンテナハウス三棟(物品収納)

○学校祭用パネル三十枚

○理数科設置記念植樹(ニュートンの木)

○招待野球試合

・硬式野球 平成十七年六月十七日(金)

於 能代球場

能代高校2-7羽黒高校(山形)

能代高校0-5秋田商業

・軟式野球 平成十七年六月二十五日

(土)・二十六日(日)

於 峰浜球場

二十五日 能代高校2-6作新学院

作新学院7-0仙台商業

二十六日 能代高校1-2X作新学院

能代高校3-6仙台商業

○同窓会員名簿発行

平成十六年十一月二十日

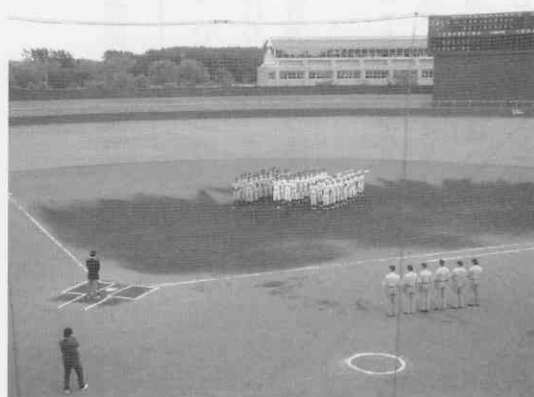
○芸術鑑賞

平成十七年九月二十八日(水)

於 文化会館

演目 シンセサイザーコンサート

○能代高校 校歌CD
有限会社ミュージックイケハラ



招待野球試合



コンテナハウス



校歌CD録音風景



同窓会員名簿